中央小学校だより

令和２年　１月　８日　　中央小学校　学校通信

新年あけましておめでとうございます

令和 2 年の年が明けました。大晦日から元旦にかけて除夜の鐘を聴いていました。いつもなら鐘を突きに行くのですが、年末に家族が体調を崩してしまったので、一人で、テレビを消して静かに耳を澄ましていました。いつもより数が少なく、音も小さく感じました。ニュースにもなっていましたが、お坊さんの高齢化や地域の苦情などを理由に、除夜の鐘を中止するお寺が出てきているようです。私としては何ともさみしい思いです。子どもの頃、布団の中で聴いた除夜の鐘の響きが何とも心地よかったことを覚えています。来年はどんな年になるのだろう。と、漠然と考えながら、でも、あれこれ思いは駆け巡り、いつの間にか気が付くと鐘が聴こえなくなっていたことを思い出します。これからの時代、除夜の鐘を知らない子どもたちも出てくるかもしれませんね。

さあ新しい年が始まりました。子どもたちには、「漠然と考えている令和 2 年」ではなく、こんな年にしたい！とみんなに語れるような思いを持ってスタートを切ってほしいと思います。

6 年生は卒業目前。やり残したことがないように最後まで頑張ってほしいものです。中央小学校の 6 年生として、「この授業も最後だ」「この歌を歌うのも」「この作品で図工も終わりか」「これも持って帰るか。もう使わないもんな」など、これから一つずつ考えてしまうかもしれません。未来へ向かう第一歩はもう始まっているのです。よい思い出をたくさん作ってほしいです。

春の七草

今日の始業式で春の七草の話をしました。昨日は七草の節句でしたね。この日に 7 種類の野菜や野草が入ったおかゆを食べるとその 1 年は風邪をひかずに過ごせると言われています。ご家庭で「七草がゆ」を炊いたでしょうか。今は七草がゆセットとして春の七草がスーパーで売られていますが、案外身近なところで手に入る植物なのです。「せり」「なずな」「ごぎょう」「はこべら」「ほとけのざ」「すずな」「すずしろ」ご存じの方もいらっしゃると思いますが、せりやなずなは田んぼの畔や水辺で調達できますし、ごぎょう（ハハコグサ）やはこべら（ハコベ）ほとけのざ（コオニタビラコ）は野原で普通につめますし、すずな（かぶ）すずしろ（大根）は畑で作りますよね。でもこの寒い時期はみんな小さかったり、地面に張り付いていたりしていて、よく見ないとなかなか見つかりません。「ほとけのざ」だけが、皆さんが知っている「仏の座」ではなく、「コオニタビラコ」というキク科の植物なのです。学校では、ナズナやハコベ「コオニタビラコ」ではなく「仏の座」を見つけることができます。子どもたちが、今年も元気に、生き生きと活動してくれることを願っています。